

平成29年度 美幌版総合戦略に係るH28事業実施結果報告

(各事業における実績額及び事業効果等)

基本戦略1

No	① 対象事業の名称 事業内容	② 実績額 予算額		③ 本事業における重要業績評価指標(KPI)					④ 本事業前 の実績値	⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 事業効果(⑤)の評価理由(具体的) ※実績値が指標値を下回っている事業についてはその理由(原因) 等についても記載願います	⑦ 事業費総額(①)の内訳 ※「〇〇委託料・〇〇円」等の内訳を記載願います	⑧ 指標値に対するH28実績値の内容	⑨ 外部有識者からの評価		⑩ 実績値を踏まえた事業の今後について		
		過年度	実績額	指標	指標値	単位	目標年月	H27実績値	H28実績値	事業効果	事業の評価				外部有識者 からの意見	今後の方 針	今後の方針の理由		
		後年度	予算額																
1	新規就農者確保・育成等総合支援事業 (農業経営者育成事業)	【①新規就農研修生の育成】農業機械の操作技術向上、栽培技術・知識の習得、営農・資金計画の樹立に向けた実践的な研修を実施するとともに経営継承方式による就農を円滑に進めるための総合的な支援体制を構築する。 【②農業後継者の育成】冬期農業講座を開催し、農業技術力・経営能力の向上を図る。	H27年度	6,884,231	指標①	新規就農研修生	1	戸	H29.3		1	①経営継承方式による新規就農は、資産一括譲渡により新規就農者、離農者、双方にメリットのある仕組みであり、経営基盤を持たない新規就農者の経営安定化が早期に図られる手法である。また、新規就農者の確保は今後の農地流動化及び農家戸数減少対策と目していることから事業効果は高い。(H28年度 研修生:1名、研修2年目を計画通り実施) ②本年度における冬期農業講座は講座内容の充実化が図られたことにより受講者数で昨年の延べ25名から延べ64名と大きく増加したことから事業効果は高い。	(1)新規就農予定者の農業研修支援事業補助金:540,000円 (2)各種研修等報償:15,000円					事業の継続	実績値から本事業が効果的であることから事業を継続し、地域農業の担い手確保及び人材育成を更に強化する。
					指標②	冬期農業講座受講者数	50	名(延べ)	H29.3	64									
			H28年度	5,536,083	指標③														
			H29年度	7,421,000	指標①	新規就農研修生	1	戸	H30.3										
1	新規就農者確保・育成等総合支援事業 (農家青年配偶者対策事業)	農業センター実習と農家実習を自由に組合せられる仕組みの農業体験実習生受入事業は担い手対策協議会を通じて実施し、農業に興味を持った女性実習生を積極的に受入する中で、農業体験を通じた農家青年との交流の場を自然な形で設定し、農家青年の成婚率向上を図る。	H27年度	7,121,619	指標①	農業体験実習生	3	名	H29.3		4	・農業体験実習生4名を受け入れし、独身農家青年宅での農家研修を実施した。実際には発展しなかったが、農家青年との交流の場を設定することができた。平成27年度、実習生のうち1名が実習終了後、本町へ移住を果たし、実習中に親交のあった農家青年と交際中であることを例に挙げると事業の継続化により、その効果が現れることから事業効果は高い。	農業担い手対策協議会負担金:1,732,000円					事業の継続	実績値から本事業が効果的であることから事業を継続し、農業体験の場を提供する中で農家青年との交流の機会を設定し、成婚率向上を図る。
					指標②														
			H28年度	6,719,996	指標③														
			H29年度	10,802,000	指標①	農業体験実習生	3	名	H30.3										
1	新規就農者確保・育成等総合支援事業 (農業振興事業)	独自性と有益性を兼ね備えた新規作物や新たな栽培技術を地域へ提案、普及するべく各種試験栽培に取り組み、研究・調査を実施する。また、新たな特産品として知名度が高まりつつある「伏せ込みアスパラガス栽培」については、早期出荷と高収化の両立化を図る難題に取り組んでおり、引き続き研究・調査を継続するとともに関係機関と連携し、生産者戸数増加に向けた普及推進を図る。	H27年度	9,732,879	指標①	伏せ込みアスパラガス栽培戸数	6	戸	H29.3		7	・7戸の生産者によって取り組まれている日本唯一の11月初旬出荷のアスパラガス冬季栽培は市場において、その希少価値が高く評価され、破格の価格で流通している。生産者7戸では少ない印象を持たれるが、本町農業は大規模畑作経営が主体の地域であり元来、施設園芸作物は普及しにくい環境の中、本町農業史上初の冬季野菜生産となる本栽培の7戸は異例であり道内産地では最多である。よって、その事業効果は高い。	消耗品費:3,605,195円					事業の継続	実績値から本事業が効果的であることから事業を継続し、道内最先端の冬季生産アスパラガス栽培技術の研究に取り組み、更なるブランド力向上を支える。
					指標②														
			H28年度	10,498,150	指標③														
			H29年度	10,473,000	指標①	伏せ込みアスパラガス栽培戸数	7	戸	H30.3										
2	地域ごと支援事業	本町においても農業後継者不足が問題となっており、農業後継者確保が課題となっていることから、経営継承できる農家子弟と農外から新規参入する新規就農者に対し、就業支援を行うことにより、農業後継者確保と本町農業の持続的発展を図ります。	H27年度	3,000,000	指標①	新規就農者数 新規農業従事者数	3	人	H29.3	4	9	指標値を達成し事業効果があった	新規就農者や新規農業従事者に対し就業支援を行うことにより、農業後継者を確保することが出来た。	(1)就業奨励補助金 :7,144,367円 (2)農用地賃料補助金: 519,696円 (3)経営安定補助金 : 3,264円 (4)青年就業給付金 :1,500,000円	○新規農業従事者9名 学卒 5名、Uターン 4名			事業の継続	新規就農者や新規農業従事者等を確保し、本町農業の持続的な発展を図るため。
					指標②														
			H28年度	9,167,327	指標③														
			H29年度	13,423,000	指標①	新規就農者数 新規農業従事者数	3	人	H30.3										
3	森林認証材活用促進事業	付加価値促進を図るために森林認証材買取時に上乗せを行い、認証の普及促進を図る。(補助率1/2、事業者の連携が条件、上限250万円)	H27年度	2,602,664	指標①	認証材の生産量	5,800	m3	H29.3	5,371	4,398	指標値を下回ったものの事業効果があった(見込める)	森林認証材を、住宅供給のため計画的及び使用量調整を行い、産出したため指標値を下回ったものです。なお、認証材住宅は着実に効果を上げています。	製材:3,353.023m3×1,000円×1/2 ダンネージ材:267.988m3×600円×1/2 パルプ材:777.763m3×400円×1/2 皆伐:5契約 間伐:4契約	計画的に伐採を行っているため、指標値と異なる。			事業の継続	実績値により、本事業が効果的であったため、継続的な取組をすることで、森林認証区域の拡大を推進する
					指標②														
			H28年度	1,912,457	指標③														
			H29年度	2,500,000	指標①	認証材の生産量	5,800	m3	H30.3										
4	美幌町産材活用促進事業	美幌町産FSC森林認証材の利用促進により、森林資源の地産地消の推進・町内経済の活性化・町内住宅の良質な住環境整備を図る。	H27年度	12,840,000	指標①	建築住宅戸数	10	棟	H29.3	17	10	指標値を達成し事業効果があった	補助金 8,280,000円 認証材使用量: 212.7242m3 町内工務店実施率:65% (全体 23戸÷町内 15戸= 65.2% 内認証材使用戸数 10戸)	建築住宅戸数・認証材使用量は、その年の状況で変わるため、増減はありませんが、これを行うことにより事業効果・町内循環システム等の効果を検証していきたい。			事業の継続	実績値により、本事業が効果的であったため、対象拡充を図り、美幌町産FSC森林認証材の利用促進及び町内住宅の良質な住環境整備を更に発展させる	
					指標②	森林認証材使用量	212	m3	H29.3	325	212								
			H28年度	8,280,000	指標③														
			H29年度	17,400,000	指標①	建築住宅戸数	20	棟	H30.3										指標②
5	森林認証材ブランド推進事業	美幌町産FSC森林認証材を使用して、価値の高い建材等にするため、新たな乾燥技術(コアドライ)を取り入れ、FSC認証材の地域ブランド化を目指し、販路開拓及び町内外へ普及・PRを図る。(平成27年度国の補正予算に伴い、町でも平成27年度繰越明許費である。)また、美幌町産FSC森林認証材を使用した新製品の開発を行う。	H27年度	0	指標①	コアドライ材加工量	30	m3	H29.3		55	指標値を達成し事業効果があった	今後、FSC認証コアドライ材の普及促進を図っていきます。	地方創生加速化事業「森林認証材ブランド化推進事業補助金」 町→森林組合への委託事業委託料「8,669,000円」 コアドライ構造材試験研究費 コアドライ技術検査・登録 コアドライ活用住宅模型製作 コアドライの普及・PR・販路拡大 等			事業の継続	FSC認証コアドライ材を町内の新築住宅へ普及させ地域循環を図っていく。	
					指標②	コアドライ材モデルハウス	2	棟	H29.3										
			H28年度	8,669,000	指標③														
			H29年度	1,000,000	指標①	新開発製品	10	品	H30.3										

